

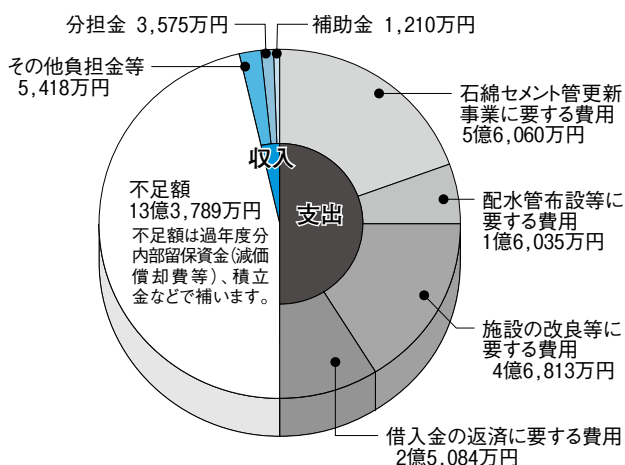
平成30年度予算のあらまし

水道企業団では、水道事業基本計画（水道事業ビジョン）の「市民から信頼されつづける水道」の基本方針に基づき、計画的・効率的な水道施設の更新を実施し、健全な事業運営を維持しつつ災害に強い水道施設を整備して『安全』で『強靱』な水道の『持続』を目指します。

資本的収支予算

みなさんに安定した給水を続けるために、施設の更新や配水管網の整備、国などから借り入れたお金の返済に要する予算です。

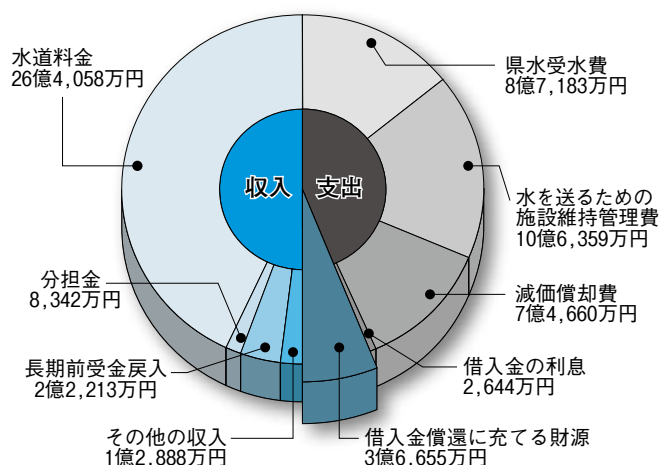
収入 1億 203万円
支出 14億 3,992万円



収益的収支予算

みなさんからお支払いいただいた水道料金を主な収入とし、水道水をみなさんのご家庭までお届けするための予算です。

収入 30億 7,501万円
支出 27億 846万円



主な事業内容

安全供給できる水道

- 健全な水資源の確保のため、県営水道から県水を購入します。
- 水質検査、水質状況調査をおこないます。
- 配水管の洗浄作業をおこないます。

非常時にも強靱な水道

- 老朽化した石綿セメント管の布設替えを2.8kmおこないます。
- 配水管を新たに1.0km布設します。
- 川田谷浄水場の蓄電池の更新をおこないます。
- 非常時に備え、災害対策用資材や補修材料等を購入します。
- 災害時に備え、中丸浄水場に新たな出入口を築造します。

効率的な事業運営と持続できる水道

- 漏水調査を実施し、適切な管路管理をおこないます。
- 空調設備を更新し、省エネルギー化を図ります。
- 浄配水場の管理業務や水道料金徴収業務等を委託し、業務の合理化を図ります。
- 漏水多発地区の配水支管を整備し、有収率の向上を図ります。
- 企業会計システム及び水道料金システムに対し、元号変更対応のためのシステム改修をおこないます。
- 水道料金のコンビニ収納をおこないます。